

ひらききじんじゃほんでん

枚聞神社本殿

平成2年3月23日指定



■ 所在地 指宿市開聞十町1366

■ 所有者 宗教法人枚聞神社

■ 特徴

指宿市開聞十町にある枚聞神社は、創建がいつなのかははっきりしませんが、古来より人々のあついで信仰を受けてきました。現在の本殿は、天明7(1787)年に第8代藩主島津重豪によって建てられたものです。

龍柱には、島津重豪が42歳の厄払いのため、天明6年11月から天明7年1月12日にかけて取り付けた銘が修理の際に発見されています。朱塗りの本殿、幣拝殿、勅使殿がそれぞれ独立して一直線に並び、樹木に囲まれ、見事な景観になっています。勅使殿の両脇には、長い東長片、西長片が独立して並んでいます。また背後には開聞岳を控え、一段と荘厳さを見せています。